

花粉症・アレルギー性鼻炎に効果的!

耳鼻咽喉科
上村 隆一郎 医師



炭酸ガスレーザー装置導入しました

耳鼻咽喉科外来では、花粉症やアレルギー性鼻炎に効果的な治療としてレーザー治療を行っております。このレーザー治療は鼻アレルギーの中で日帰り手術ができ、外来で短時間でできる有効な治療法といえます。

アレルギーの種類は?

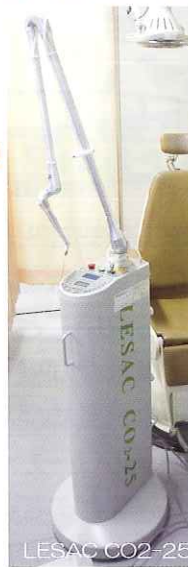
…花粉・ハウスダスト・カビなど

レーザー治療とは?

…アレルギー反応の起きている鼻の粘膜を焼く方法

治療の効果は?

…おもに鼻づまりの改善に効果的です



花粉症・アレルギー性鼻炎 治療の流れ

①まず初めに耳鼻咽喉科外来を受診していただき、レーザー治療の適応があるか判断させていただきます。診察後、可能と判断されましたらレーザー治療の予約を取らせていただきます(施術は別日となります)。

適応となった場合

②局所麻酔(ガーゼに麻酔を浸し鼻に入れる)をします。(鼻粘膜への注射は行いません)

③照射時間は両側で約10分程度です。術中の痛みについては感じ方に個人差があり一概には言えませんが、ほぼ無痛の方からチリチリとした軽い痛みを感じる方までいます。出血や痛みはほとんどありません。



診察室での施術の様子。痛みはないか、医師と確認しながら慎重に患部を照射します

④鼻の中の傷がきれいになるまで2~3週間の間に1~2回通院していただきます。

費用は?

…診察料も含めたすべてに健康保険が適用されます。診察料や投薬量を除いた手術自体の費用は両側で約6000円です(3割負担の場合)。

診察時間：毎週月～金曜日 午前 8:30～12:00 詳しくは…
午後 2:00～5:00 E館1階 耳鼻咽喉科外来へ
担当医師：上村隆一郎 お気軽にお問合わせください。



基本方針

- ①地域住民、地域医療機関と密着した医療と連携
- ②24時間救急医療体制(高度2次)
- ③何人も平等に受けられる医療
- ④医療人としての自覚と技術向上のための教育
- ⑤最新医療機器の導入による高度な医療

理念

「まず愛し、そして愛される病院」
～ 一人でも多くの幸せを! ～

編集後記

くしゃみ、鼻水、目のかゆみ。花粉症でお悩みの方は多いと思います。日常生活においては、風の強い日は外出を避けることや外出時にマスクや眼鏡を着用することが基本ですが、食事面でもいろいろな種類の食材をバランス良く摂りましょう。免疫機能が低下するとさまざまな病気までも引き起こしてしまいます。今回は、塚本雄介新副院長就任のご挨拶、医療福祉相談室のお仕事紹介、耳鼻咽喉科外来より炭酸ガスレーザー装置導入のご案内を掲載いたしました。当院では、日進月歩する医療に対して専門知識や技術を習得し、さらに安全・安心で質の高い医療を提供するためスタッフ一同努めてまいります。今後も広報では診療などに関する最新の情報を広報誌やホームページ、院内掲示板、無料公開医療講座などを通して適時発信してまいりますので、よろしくご依頼申し上げます。皆さまのご意見やご要望などをぜひお寄せください!お待ちしております。 広報 川添 理菜

板橋中央総合病院 地域広報誌
PLAZA IMS (プラザ イムス)
Vo.33 早春号
発行：板橋中央総合病院 地域健康相談室
発行日：2011年3月25日
医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院
〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7
TEL 03 (3967) 1181
E-mail : koho.ibh@ims.gr.jp
http://www.ims.gr.jp/itabashi.hp/

板橋中央総合病院
板橋セントラルクリニック
地域広報誌

PLAZA IMS

平成23年3月 Vol.33 早春号
プラザ イムス

板橋中央総合病院 新副院長 就任ご挨拶 ～CKDの早期発見と適切な治療の普及のために～



つかもと ゆうすけ
塚本 雄介 副院長/内科統括部長
出身大学：北里大学、昭和51年度卒
専門分野：腎臓内科
資格：医学博士、日本内科学会認定内科医
日本腎臓学会認定専門医、指導医
日本透析医学会認定専門医、指導医

平成23年2月に赴任いたしました。専門は腎臓病全般で、この分野では35年間の診療経験を有します。

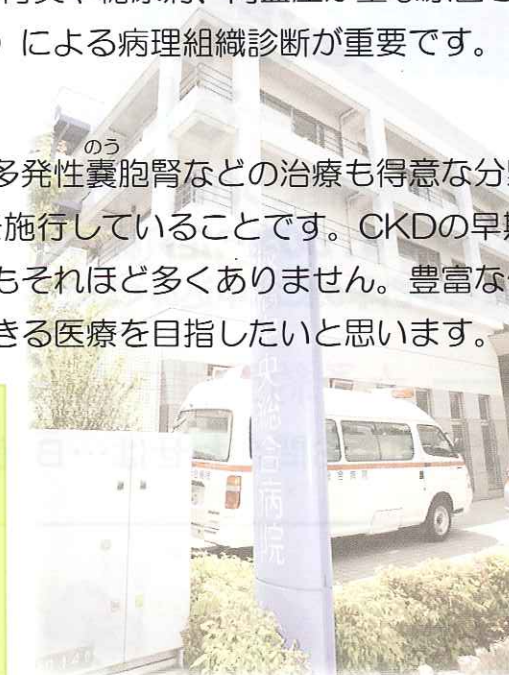
さて皆さまも慢性腎臓病(英語でCKDシーケーディー)という病気のことを知っておられると思います。日本人成人の約10%がこの腎臓の働きが慢性的に低下している病気にかかっていると思われます。糖尿病や高血圧、肥満などの生活習慣病がその原因となっていることが多い病気です。このCKDになると将来腎臓の働きが悪くなり透析療法を受けなくてはならなくなったり、心臓病になる危険が増すことが証明されています。私はこのCKDを早期発見、予防、治療するための対策を日本腎臓学会の元で役員として設立当初から中心的に担ってきました。

これからはこの地域でCKDの早期発見と適切な治療の普及に尽力したいと考えています。またCKDの原因としては慢性糸球体腎炎や糖尿病、高血圧が主な原因としてあります。この診断には腎生検(腎臓から組織をとる検査)による病理組織診断が重要です。これにより正確な診断と適切な治療が可能になります。

急にむくんでくるネフローゼ症候群や、特殊ですが遺伝性の多発性嚢胞腎などの治療も得意な分野です。また、当院の特色としては年間20件におよぶ腎臓移植を施行していることです。CKDの早期発見から腎移植まで全てを治療することの出来る病院は都内でもそれほど多くありません。豊富な他科とも連携を密にして、患者さまの苦痛を少しでも多く解決できる医療を目指したいと思います。

腎臓内科『CKD外来』のご案内

慢性腎臓病の患者さまのご相談窓口としてCKD外来を開設いたしました。CKD外来では診療に加えて管理栄養士による栄養指導を行っております。詳しくは内科外来までお問合せください。
外来日：毎週水曜日 午後2:00～5:00(予約優先制)
担当医：塚本 雄介



詳しく知って早期に発見!

か し じょうみやく りゅう
下肢静脈瘤ってどんな病気?



心臓血管外科
東原 宣之 医師

「下肢静脈瘤」とは、下肢(足)にある静脈(血管)に血がたまって血管が拡張し、表面が網目状やクモの巣状に浮き上がる病気です。もっともよくおこる血管疾患のひとつとして知られています。そのまま放置すると、症状が進行し、最終的には色素沈着や出血、潰瘍に至るケースもあります。

静脈の異常が原因で起こる病気

足の静脈の血液は各細胞で使われ心臓に向かって戻っていきます。静脈は体の端の部分から心臓に戻す役割をしており、血液は立った状態になっても重力に逆らって心臓に向かって流れていきます。そのために、上に向かう血液の流れを作り出すために重要なのが筋肉の運動によるポンプ作用と足先に戻ろうとする血流を防止するための「逆流防止弁」になります。この弁が何らかの原因で壊れ、血液が逆流してしまうと静脈がこぶのように膨らんだり、だるさやかゆみなどいろいろな症状が出てきます。

下肢静脈瘤は年齢とともに増加し、立ち仕事をする人や女性の方などに発症します。治療法は、弾性ストッキングを使う圧迫療法、注射で静脈を固める硬化療法、そして静脈瘤自体を取り除く手術療法の3つがあります。症状がありましたら速やかに検査や治療を行なうことが重要です。

● **下肢静脈瘤外来<完全予約制>**

気になる症状がある方やご相談をご希望の方は、D館1階 心臓血管外科までお問い合わせください。

診察は**完全ご予約制**となります。

<診療日> 月曜日 午後2:00~4:00

火曜日 午後2:00~3:00

水曜日 午前10:00~12:00

このような症状はありませんか?

- 最近、足がむくんだり、だるくなる
- 最近、足がつりやすい、疲れやすい
- 足の血管がクモの巣状に浮き上がっている
- 皮膚の色が黒ずむ、かゆみを感じる



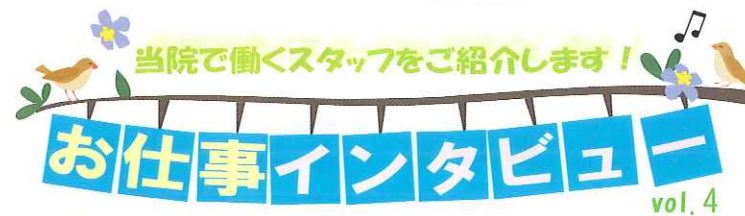
無料公開医療講座
を開催します!

糖尿病網膜症について、専門医が詳しく解説いたします。60名の定員制で限りがございます。皆さまお早めにお申込みください!

テーマ	糖尿病網膜症から眼を守る、治す、ケアする
日時	平成23年5月20日(金) 午後3:00~4:30
場所	当院 E館2階 講堂
講師	板橋セントラルクリニック 眼科 山路 浩平 医師
対象者	どなたでも参加できます(予約制)

☆ 予約受付中 ☆

ご予約・お問い合わせは…B館1階 地域健康相談室 ☎ 03-3967-1198



● **医療福祉相談室ってどんなところ?**

病気になると、さまざまな問題や不安が生じてきます。「初めてのことだから分からないことだらけで…」「介護が必要な状態になって誰に相談したらいいのかわからない」「後遺症が残ってしまったら、これからの生活が不安で仕方ない」など、思いもよらぬ病気や怪我等でお困りのことはありませんか? 医療福祉相談室は、医療ソーシャルワーカー(Medical Social Worker: MSW)が患者さまやご家族に関わる社会的、心理的、経済的な悩みなどのご相談を受け、問題解決のお手伝いをさせていただく部署です。現在は女性7名、男性1名が在籍し、多岐にわたるご相談に対応させていただいています。

例えば、病気により今までと同じ生活ができなくなってしまい、介護が必要になった場合にはどうすれば患者さまが再びご自宅で生活できるかを一緒に考えます。必要に応じて、地域の医療・保健・福祉機関と連絡をとりあい、安心してご自宅で療養していただくための準備をおこないます。場合によっては、退院前にMSWがご自宅へうかがい、生活するうえで何に困るか、また何が必要かを検討することもあります。このようなご相談以外にも、入院生活でお困りのことや今後の生活などで不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。相談内容については秘密厳守させていただきますので、ご安心ください。



いきいきと働くスタッフにインタビュー!!
今回は、病気や障害によって生じるさまざまな問題のご相談に応じる「医療福祉相談室」をご紹介します。業務内容について社会福祉士の資格を持つ原 祐子主任にお話を聞きました。

医療福祉相談室 ~お悩みのことはありませんか?~

- ・医療費のこと 【受付時間】月~金 8時30分~13時00分
- ・家族の問題 14時00分~17時30分
- ・病気への疑問 土曜日 8時30分~12時30分
- ・治療への不安 【場 所】 B館1階 医療福祉相談室

ご相談時間を十分にお取りするため、できれば事前にご連絡をいただき、面談のお約束をさせていただければと思います。どうぞお気軽にご予約ください。



開業医の部屋

当院と連携をとっている開業医の先生をご紹介します!

板橋中央総合病院 連携ネットワーク制度・・・
地域の病院・診療所との医療連携のもとに専門医療での機能・役割を全うすることができるように、当院では地域医療連携を推進しています。

西台内科

内科・消化器科・循環器科・アレルギー科の診療をしているクリニックです。風邪や胃腸炎、生活習慣病(高血圧・高脂血症・糖尿病など)に至るまで、内科全般の診療を行っています。また、胃の内視鏡検査による消化器疾患の早期診断と治療に努めています。身近なかかりつけ医として、皆さまが心身ともに健やかでいられるようにお手伝いをしたいと考えております。お子様からご高齢の方まで、体調不良など心配なことがありましたらお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願ひいたします。



<都営地下鉄三田線 西台駅> 徒歩5分
〒175-0082
板橋区高島平9-7-6
TEL: 03-5922-5350
http://nishidai-naika.com/



受付時間 ※土曜日のみ9:00~14:00になります

	月	火	水	木	金	土	日
午前(9:00~13:00)	○	○	○	×	○	※	×
午後(15:30~19:00)	○	○	○	×	○	×	×



すどう いちろう
院長 須藤 一郎
【資格】
医学博士

日本内科学会認定内科医
日本医師会認定産業医
日本消化器病学会認定専門医
日本消化器内視鏡学会認定専門医、指導医

